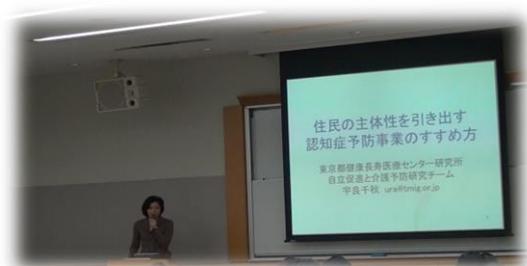


2015年度は東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡の6都市で研修を開催し、延べ307名の方にご参加いただきました。
研修後に頂いたアンケートを一部ご紹介します。

★認知症の基礎知識とても分かりやすく良かった。講座や教室の後の主体性を重視した、自主グループへの移行手段について学ぶことができ良かった。自分の自治体の事業へ生かしていけるようにしたい（市職員）

★地域資源を地域の方に集めてもらうことや自主化の方法、人材育成の基本的な考え方を学ぶことが出来た。どこまで活用できるか不安ですができる限り努力していきたいと思います。（包括支援センター職員）



宇良千秋 氏

★介護予防、認知症予防のグループを立ち上げたり支援していく上でとても参考になりました。男性の参加者が少ない事が課題でもあったので、PRの仕方や教室の内容を検討する必要があるのだと思います。（包括支援センター職員）



全国各地の取り組み例を紹介

★自主化の重要性、具体例を示して頂けたことで今後行う事業で自主化を促す意識とイメージを持つことが出来た。

（スポーツクラブ勤務）

★ファイブ・コグをメインに受講したが、様々なコミュニティの活動内容を知ることが出来て今後の活動に役立てられそうです。

（スポーツクラブ勤務）

★住民の主体性をいかに支援するかの展望が見えてきたような気がします。研修終了直後は自分自身の”やる気”も向上しているためこの勢いで企画をしたいと思います。

（地域包括支援センター保健師）



ファイブ・コグ実施方法の紹介

★一番の目的はファイブ・コグテストを実施できるようになることであつたが、「認知症予防事業の進め方」も通常の指導業務において大変有意義なものでした。（スポーツクラブ勤務）